



## <取材のお願い>

2024年1月9日

宮崎大学

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）

さくらサイエンスプログラム推進本部

### ペルーの医学研究者が宮崎大学で外科医療の先端技術を研修 ～最新の手術支援トレーニングやDXによる手術シミュレーションを体験し、 宮崎の歴史と自然に触れる～

宮崎大学医学部では、1月12日（金）～1月18日（木）、ペルーの国立サンマルコス大学および関連病院から、教員3名、研究者3名、計6名を招へいし、消化器外科臨床および関連した研究分野における研修プログラムを実施します。

ペルーの首都リマにある国立サンマルコス大学は、医学部、農学部、獣医学部、工学部をはじめとする多くの学部を有し、歴史あるペルーを代表する大学です。その関連病院には、ペルー全土から集まる難治性疾患の患者を治療するための施設があり、様々な臨床・基礎研究が進められていますが、国内情勢や経済的問題から、世界標準の技術や機器開発が発展途上な面もあります。一方、宮崎大学では、2015年より独自のDX（デジタルトランスフォーメーション）活用シミュレーションや生体イメージング・光治療の技術を日々開発しています。さらに、大学院には全国で唯一の「医学獣医学総合研究科」があり、医学分野と獣医学分野が協力して、難治性感染症における学部横断的な教育・研究体制を推進してきました。

本プログラムでは、消化器外科領域の臨床医学および、それに関連する消化器癌や光生体イメージングおよび光治療などの研究に焦点を絞り、日本の外科医療の先端技術や、宮崎大学の最先端研究を紹介することを目的としています。

具体的には、基礎医学講座や、医獣工で連携する光生体イメージングによる腫瘍診断および光線力学的治療の最先端研究の説明を受けます。さらに、難治性がんに対する外科手術の見学や、最新鋭の手術支援ロボット「da Vinci Xi（ダビンチ Xi）」で手術トレーニングを体験します。また、3D手術シミュレーションにデジタル技術を統合し、独自に地元企業と連携開発しているVR（仮想現実）で体験できるホログラムシミュレーションのほか、救命救急センターを見学します。1月15日と16日午後には本学の教員と招へい者らが臨床・研究の最先端の内容の研究発表会を相互に行い、本学の学生、若手医師、医療者、研究者、留学生などが聴講します。本プログラムをきっかけに、将来、両大学が医獣工連携で共同臨床・基礎研究を行うことが期待できます。1月17日は当地宮崎の歴史と伝統、自然に触れることで当地に特化した体験を行っていただきます。当地は西洋医学の祖、高木兼寛の生誕地が近くでありその歴史についてもご紹介する予定です。

本プログラムは、科学技術振興機構（JST）主催の「国際青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプログラム）」\*に採択されたものです。

\*「国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）」科学技術分野における日本と海



外の青少年の国際交流を推進する、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の事業です。一般公募プログラムでは大学等の日本の機関が作成する科学技術体験、共同研究、科学技術研修に関する青少年の国際交流計画の実施経費を JST が支援します。 <https://ssp.jst.go.jp/>



つきましては、招へい者らが外科手術を見学する様子、手術支援ロボットでトレーニングを行う様子、デジタル技術による手術シミュレーションを体験する様子、研究発表会の様子などを取材していただきたくお願い申し上げます。なお、実施担当の七島篤志教授へのインタビュー取材もアレンジが可能ですので、ご希望の方は担当者までご連絡くださるようお願いいたします。

- 【実施内容】 ●日本科学未来館見学 ●外科手術見学 ●外科関連臨床講座の研修  
●手術支援ロボット研修 ●デジタル技術を用いた手術シミュレーション  
●救命救急センター見学 ●研究発表会・意見交換会  
●高木兼寛氏紹介 ●飫肥城、日南海岸探訪

【実施場所】 宮崎大学医学部（清武キャンパス）、宮崎大学医学部附属病院、宮崎市内など

【研修日程概要】

1月12日(金)	午後：来日、羽田空港から都内へ移動
1月13日(土)	午前から午後にかけて：日本科学未来館見学
1月14日(日)	午前：宮崎着 午後：ブリーフィング、意見交換会（宮崎市内）
1月15日(月)	午前：外科手術見学、手術支援ロボット研修（宮崎大学医学部附属病院） 午後：救命救急センター見学（同上）、招へい者と宮崎大学医学部外科講座と精神神経科が参加する肝胆膵および大腸外科、精神科研究発表と意見交換会
1月16日(火)	午前：外科関連デジタル技術を用いた手術シミュレーションと、外科関連臨床講座の研修（宮崎大学医学部） 午後：招へい者と宮崎大学医学部外科講座、獣医免疫学、医学部の感染症および膠原病に関する研究発表と意見交換会（同上）
1月17日(水)	午前：ビタミンの父・高木兼寛（宮崎市出身）の歴史講義。宮崎県南部の歴史ある飫肥城訪問 午後：日南海岸から青島にかけての周辺の歴史ある遺産や自然を訪問。総括（修了証授与式など）（宮崎市内）
1月18日(木)	午前：帰国の支度 午後：宮崎発。夕方に国際羽田空港より離日

■本件に関する取材申し込み・お問い合わせ先

宮崎大学医学部外科学講座  
（担当：講座主任教授 七島篤志）

■国際青少年サイエンス 交流事業（さくらサイエンスプログラム）に関するお問い合わせ

JST さくらサイエンスプログラム推進本部企画運営室  
[https://form2.jst.go.jp/s/kouhou\\_form](https://form2.jst.go.jp/s/kouhou_form)（担当：田中(禎)、太田）